

なごや市会だより

広報

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和6年(2024年)12月 第193号

9月定例会特集号

9月定例会は、9月13日から10月16日までの34日間にわたって開かれ、補正予算や条例案、令和5年度決算認定案など市長提出案件45件、議員提出議案6件についての審議などを行いました。

名古屋市会



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

9月定例会の日程(概要)

開 会	9/13 本会議	9/19~24 本会議	9/25~10/1 常任委員会	10/2 本会議	10/4~11 常任委員会	10/11 本会議	10/16 本会議	閉 会
	市長提出案件について 市長より提案説明など	個人質問 (→詳細は、2・3面)	市長提出案件など について審査	市長提出案件など について議決 (→詳細は、1・4面) 決算認定案について 市長より提案説明	決算認定案など について審査	市長提出案件(追加)、 市長退職同意の件 について議決 (→詳細は、1・4面)	決算認定案など について議決 (→詳細は、1・4面)	

令和6年度名古屋市一般会計補正予算3件を可決

■令和6年度名古屋市一般会計補正予算(第3号)については、全会一致または賛成多数により、いずれも原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業……………20億2,520万円
ワクチン価格が当初想定を上回ることによる増額分を公費で負担

ベンチャーファンドへの出資金……………5億円
当地域のディープテック分野におけるスタートアップ企業の創出促進を図るため、ベンチャーファンドに出資

特別養護老人ホームの大規模修繕補助……………1億640万円
特別養護老人ホームの大規模修繕に要する経費を補助

低所得者支援及び定額減税補足給付金の支給……………20億円
給付予定額が現計予算を上回る見込みとなったことによる増額

介護老人保健施設等の介護ロボット・ICT導入補助…1億8,689万円
介護老人保健施設等の大規模修繕にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入に要する経費を補助

介護職員用の宿舍施設整備補助……………1,582万円
認知症高齢者グループホームの介護職員用宿舍の整備に要する経費を補助

■令和6年度名古屋市市場及びと畜場特別会計補正予算(第1号)については、全会一致により、原案どおり可決しました。
南部市場本館棟の空調設備等更新工事の工事費の増額等により、債務負担行為を変更するもの (変更前)18億9,000万円 (変更後)27億2,900万円

 **債務負担行為とは** 複数年度にわたる契約などにより、翌年度以降に債務を負う内容をあらかじめ予算で定めておくものです。

■令和6年度名古屋市一般会計補正予算(第4号)については、全会一致により、原案どおり可決しました。
衆議院の解散に伴う衆議院議員総選挙などの執行(5億9,600万円)
(表記の金額について、1万円未満は四捨五入しています。)

令和5年度決算認定案について「認定」または「原案どおり可決及び認定」

■「令和5年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案16件については、全会一致または賛成多数により、いずれも「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

一般会計の 決算状況

- 歳入決算額は1兆4,282億円余、歳出決算額は1兆4,117億円余でした。
- 前年度に比べ、歳入は226億円余減少し、歳出は241億円余減少しました。
- 翌年度繰越財源67億円余を差し引いた実質収支は96億円余の黒字でした。

➡「令和5年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、共産から反対討論(理由:見通しのない不要不急の大型事業を推し進めたこと。富裕層優遇の市民税減税を漫然と続け、市民の暮らしを圧迫したこと。)が行われました。

 **提出案件の賛否、決算認定案の委員会審査については、4面をご覧ください。**

「市長退職同意の件について」を不同意

■市長退職同意の件については、賛成少数により、不同意となりました。
議長あてに河村市長から令和6年10月14日をもって退職したい旨の申し出があったものです。
本件については、採決に先立ち、次のとおり討論が行われました。(発言順に記載してあります。)

 **市長退職同意の件についての賛否は、4面をご覧ください。**

反 対 討 論		賛 成 討 論		反 対 討 論					
自民	市長が退職する際は退職日の20日前までの申し出が法律上の原則。名古屋城天守閣の木造復元事業ほか、弥富相生山線の問題など、市政に混乱と停滞を引き起こしたまま「やり切った」と退職しようとする河村市長の振る舞いは「職責放棄」。責任ある行動をとるべき。	新生	河村市政は、なれ合い政治に風穴を開け、新しい名古屋を切り開いた。この名古屋でしかできなかった減税を全国に広めたいという河村市長の主張は名古屋の誇りである。総選挙に出馬すれば15日に自動失職となるのだから、1日早い14日の退職を素直に認めてはどうか。	民主	退職の日付や方法について二転三転するその姿は、市民の市長に対する期待や思いについて全く考えることなく、自分の都合しか考えていない無責任な態度であると言わざるを得ない。また、重責を担う市長の職を数日後に退職したいと申し出を行うことは非常識である。	公明	名古屋城の木造復元事業では、自分の価値観にこだわるあまり、市民の分断を招き、市民討論会での差別発言まで引き起こすなど、自らが起こした数々の問題を収束することもなく市政を投げ出すような無責任極まりない市長の退職には到底同意することはできない。	共産	その効果を語れない市民税減税、名古屋城天守閣整備や相生山の道路など議論が尽くされていない重要課題を山積したまま去られることに憤りを感じるとともに、これは市長が市民に説明責任を果たしていないということであり、職務放棄と言わざるを得ない。

会派の **自民** 自由民主党名古屋市議員団 **民主** 名古屋民主市会議員団 **公明** 公明党名古屋市議員団 **減税** 減税日本ナゴヤ **共産** 日本共産党名古屋市議員団
略称説明 **陽向** なごや陽向の会 **未来** きらめき未来 **青空** 青空の会 **元氣** 名古屋元氣と夢の会 **新生** 新生会 **維新** 日本維新の会名古屋市議員団

発行／名古屋市会 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL 972-2094 FAX 972-4100 発行日／令和6年12月1日
編集／名古屋市会編集委員会(編集委員長:浅井正仁議員(自民) 編集委員:おくむら文悟議員(民主)、おか千恵議員(公明)、永井ゆり議員(減税))

本号は令和6年11月11日現在の編集です。